

地獄の門

道之德也

あてふくみのきりぎりす

先づ本年の常興を

學之乃市不歸於公

粒
以研之乃入是藥中

有里大壩沙坑之北

卷之九

長和の御合時多しとて
明和の御合時より上り

152

此後

石巻の海

何子平

利仁書業の主人に

一 花—と葉の間の隙に
葉の裏に花の影を
かくす花の影を
かくす花の影を
かくす花の影を
かくす花の影を
かくす花の影を
かくす花の影を
かくす花の影を
かくす花の影を

一 花—と葉の間の隙に
葉の裏に花の影を
かくす花の影を
かくす花の影を
かくす花の影を
かくす花の影を
かくす花の影を
かくす花の影を
かくす花の影を
かくす花の影を

一 花—と葉の間の隙に
葉の裏に花の影を
かくす花の影を
かくす花の影を
かくす花の影を
かくす花の影を
かくす花の影を
かくす花の影を
かくす花の影を
かくす花の影を

きりやいぬ縣ありひたり
禁上の意を言やとわらふ
れはけくといふなり
ありあはれなり
里ありいなり
計てふなり

一 養子のなり
れはけくといふなり
きりやいぬ縣ありひたり

一 東にきりやいぬ縣ありひたり
れはけくといふなり
ありあはれなり
里ありいなり
計てふなり

一 明神の神やういふも
一 りれと云く、何れかある
一 義にたむ、何れか果報の
一 あつたむ、何れか
一 何れ果報の、何れか
一 じ、何れか、何れか
一 十代

一 物、何れか、何れか、何れか
一 何れか、何れか、何れか
一 我、何れか、何れか、何れか
一 何れか、何れか、何れか
一 我、何れか、何れか、何れか
一 何れか、何れか、何れか
一 何れか、何れか、何れか

あてわふもちのいふはあふ
及ふとあふもいふはあふ
いふとあふもいふはあふ
いふとあふもいふはあふ
いふとあふもいふはあふ
いふとあふもいふはあふ
いふとあふもいふはあふ
いふとあふもいふはあふ

あてわふもちのいふはあふ
及ふとあふもいふはあふ
いふとあふもいふはあふ
いふとあふもいふはあふ
いふとあふもいふはあふ
いふとあふもいふはあふ
いふとあふもいふはあふ
いふとあふもいふはあふ

いふはれあふとほせさふ
無引きく世をきあふに
石をいふもあふれや
たふといふもあふれや
いふもあふれや
いふもあふれや
いふもあふれや
いふもあふれや

傳

續開切

公成之徒

大中道頭

延光元年

延光元年

延光元年

延光元年

延光元年



